

平成21年度 政策評価書（事前の事業評価）

担当部局：経理装備局システム装備課
実施時期：平成21年10月

事業名：新空対艦誘導弾（XASM-3）

政策体系：研究・開発

事業内容：80式空対艦誘導弾（ASM-1）及び93式空対艦誘導弾（ASM-2）の後継として、F-2に装備し、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするために使用する新空対艦誘導弾（XASM-3）を開発する。

所要経費：約23億円（平成22年度概算要求額、後年度負担額を含む。）

○評価の内容

1 事業の目的

80式空対艦誘導弾（ASM-1）及び93式空対艦誘導弾（ASM-2）の後継としてF-2に装備し、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするために使用する新空対艦誘導弾（以下、「XASM-3」と言う）を開発する。

2 事業の必要性・適正性

(1) 当該事業の位置付け

① 防衛省の政策体系及び上位の政策における当該事業の役割

XASM-3は、対艦攻撃を任務とするF-2に装備し、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処能力を有する、我が国国民の生命・財産を守る重要な装備品であることから、防衛力整備計画上の重要な事業として位置付けられる。

② 防衛省が当該事業を実施する理由

本事業は、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的に対処するため、XASM-3を開発するものであり、そのニーズが防衛省に限られることから、防衛省が実施する必要がある。

③ 当該年度から実施する必要性

近年の諸外国においては、高性能な対空火器が搭載されている水上艦艇の導入が進められており、このような高性能な対空火器が搭載された敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするため、速やかに本事業に着手する必要がある。

(2) 当該事業の必要性

① 既存の装備等によらない理由

既存の空対艦誘導弾では、高性能な対空火器が搭載された敵戦闘艦艇に対する効果的な対処が困難となりつつあることから、XASM-3の開発を実施する。

② 代替手段との比較検討状況

諸外国の装備品は、要求性能を満足しないため、本事業を実施する必要がある。

(3) 当該事業における装備品等の数量等の事業内容の必要性・妥当性

平成22年度から28年度の試作では、システム設計及びその詳細設計を実施するとともに、段階的に性能を確認するために必要な誘導弾、発射母機の改修等一式を試作する。また、これらの試作、技術試験及び実用試験により、要求性能を評価・確認する計画である。

なお、本年度実施された技術評価委員会の事前評価結果を受け、試作内容の精査を実施した。

3 事業実施の効果・時期

(1) 実施効果

① 得ようとする効果

本事業により、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より残存性の向上が図られたXASM-3の装備が可能となる。

② 効果の把握の仕方

平成25年度から28年度に実施する試験により検証を行い、要求性能の評価・確認が可能である。

③ 得ようとする効果の達成見込みの根拠

これまで行われた将来空対艦誘導弾の研究及び超音速空対艦誘導弾用推進装置の研究成果を活用することにより、効果の達成は可能と考える。

(2) 実施時期

平成22年度から平成28年度にかけて試作を実施し、平成25年度から平成28年度にかけて試験を実施する予定である。

○今後の対応

本事業は、近年の諸外国において導入が進められている、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処能力を有する装備品を開発するものであり、我が国国民の生命・財産を守る観点から速やかに本事業に着手する必要があることから、平成22年度概算要求を実施する。

○その他の参考情報

運用構想図・・・・・・・・別紙